



◇ドイツ文化講座



総会懇親会

◇福井国際フェスティバル2019に参加(10月29日)

「国際フェスティバル2019」でブースを設けてドイツのお菓子を配布し、活動を紹介しました。ちょうど来訪中の、ドイツからの行政団が当ブースを訪れ、自分の国が紹介されていることに感激されました。また、行政参加者のほとんどが日本、あるいは福井を初めて訪れる方ばかりでしたので、会場で開かれていた、初めての野点を体験し、日本文化に触れられ、大変喜ばれました。(福井県国際交流会館)

◇ドイツ文化講座(5月25日)

ハンブルク大学サマースクールに参加した水野真由子さん(福井大学工学部4年生)をお招きし、毎年8月にハンブルクで催される語学留学についての紹介がなされました。現地での1か月の暮らしぶりや感じたことなどを若い感性で語って頂きました。また、ベルリン訪問で撮影した、現地のジャスカフェでの演奏が披露されるなど、訪独旅行を控えた当協会会員にも興味深く、盛んな質疑応答がなされました。講座後には、和やかな雰囲気の中、懇親会へと進み、ドイツ風オープンサンドを参加者みんなで楽しみました。

<事務局からのお知らせ>

1. 20周年記念事業へのご寄付に感謝いたします。
周年記念に合わせたドイツからの行政団(2019)並びに市民団(2020 予定)との交流活動に、大切に使用させていただきます。有難うございました。ご芳名(五十音順、敬称略)

石本理 伊東みどり 恐神正博 栗田幸雄 小寺俊明(株) シャルマン
須藤邦久 高桑敬子 田中広明 塚谷麻由美 光野稔 西畑光廣

2. ドイツ市民訪日団が、10月に来県します。一緒に交流しましょう!
2020年10月の来訪に合わせ交流活動を行います。ともに企画するスタッフを募集します。あわせて、滞在期間中のホームステイ先(ドイツ語能力不要)を募集します。
(2020年10月 ~ ・3泊予定)

3. 新規会員を募集しています。一緒に活動しませんか?
2020年度の年会費の振込みを6月30日までをお願いします。(入会金は不要です。)
[年会費] 3,000円 [振込先] 福井銀行県庁支店 [口座番号] 普通1038970
[名前] 福井県日独友好親善協会(フクイケンニチドクユウコウシンゼンキョウカイ)

★お問合せ先★

(特非) 福井県日独友好親善協会事務局 ○○ tel: ○○○○○
HP: e-mail: ○○○○



友好交流20周年を迎えて

(特非) 福井県日独友好親善協会会長 村田幸子

昨年、2019年2月に、福井県日独友好親善協会は、創立20周年を迎えました。また、福井県とヴィンゼン市・ハールブルク郡との友好協定締結20周年にもあたります。

これを記念し、2つの大きな行事が開催されました。まず9月末、当協会会員による訪独団が、交流都市ヴィンゼン市にて20周年記念式典に参加しました。その際、我々とともに、日独交流を進めてきたドイツサイドのパートナーである、ヴィンゼン独日協会のベッケドルフ会長に対し、日本からの外務大臣賞授与式も同時に行われ、喜びも二倍となりました。ヴィンゼン滞在中には、福井からの参加者は各々、ホームステイさせて頂き、貴重で楽しい時間が過ごせました。ドイツ語を使う良き実践の場ともなったことでしょう。

また滞在中に、リューネブルク市にも日帰り訪問し、リューネブルク独日協会の会員の皆様とも再会できました。これは、2018年に福井を訪問したことへの返礼のお招きを受け、急ぎょ旅行プランに取り入れたものです。市長の歓迎の言葉を受けるとともに、珍しい伝統文化に触れることもでき、思いがけない嬉しい思い出となりました。

このように、心と心が触れ合う交流は、国内外を問わず、どんどん広がっていくものです。さらに、我々がドイツから帰国してまだまもない10月末に、こんどは先の式典でお会いしたヴィンゼン市長をはじめ、郡、市を代表する行政団による福井への訪問を受けました。これに合わせ、県との共催で、「友好協定20周年記念式典」を盛大に催すこととなりました。行政各代表および、当協会の法人会員、個人会員の多くが集い、ドイツからの高校生を引率してきた先生方や福井大学留学生も交えての、にぎやかな20周年祝宴となりました。

こうした、昨年の日独相互の訪問によって、両国の親密度がさらに増したことは間違いありません。昨年、20周年記念を、官民ともに祝う機会を得たことは、これまで両地で共に育ててきた「友好交流の木」がもたらした「果実」と呼ぶにふさわしいでしょう。そして「果実」は「種」を残し、次の世代へと命をつなげていくように、我々協会も、法人団体として、次の10年を見据えた活動を広げ、未来へのバトンタッチが重要と考えます。

さて、本年秋には、5年ぶりにヴィンゼン市民訪日団が、5年ぶりに福井を訪れることになっています。私たちひとりひとりが、交流の担い手として活動し、一緒にこの「種」を育てませんか? ご自身の手で育てた「良き種」は、必ずや、皆様自身の「幸せの木」へと成長し、未来に、「笑顔の花」を咲かせてくれることを信じ、願っています。

LWLWLWLWLWLWLWLWLWLWLWL 2020年度・活動計画 UFUFUFUFUFUFUFUFUFUFUFU

計画1 ドイツ親善訪日団との交流 [福井県民とドイツ国民との交流事業]
独日協会ベッケドルフ会長ならびにヴィンゼン市民、リューネブルク市民との交流活動を、福井滞在中に行います。

計画2 ドイツ語にチャレンジ! [ドイツ国民との交流促進のための研修会、講演会等の開催]
ドイツ国民との相互理解と友好親善を深めるためには、ドイツ語の知識が不可欠です。記念訪独を目指し、各自が独自の交流活動が展開できるよう支援します。語学講座や文化講座を通してドイツについて学びます。

計画3 ドイツ語カフェ [福井県民への情報提供事業]
毎月第4土曜日10:00~12:00に国際交流会館喫茶コーナーで、ドイツに関する情報交換会などを開催します。

計画4 PR大作戦 [その他日独間の交流促進に寄与する事業]
福井県国際交流会館を会場に10月に開催される福井国際フェスティバルに参加します。会場内に当協会活動とドイツ紹介(ハールブルク郡とヴィンゼン市)のブースを設けて会員の募集活動を行います。

◆交流 20 周年記念訪独（2019 年 9 月 27 日～10 月 4 日）

2019 年 9 月 27 日にヴィンゼン市入した訪独団一行は、28 日に記念式典に参加しました。式典は、市庁舎に近いシュロスプラッツ・ホテルを会場に午後 6 時から催され、多数のヴィンゼン独日協会会員やゲストに参列して頂きました。式典では同時に、在ハンブルク加藤総領事より、ベッケドルフ会長への日本外務大臣賞の表彰が行われた後、「日独の友好関係を長期にわたり続けておられる日・独両協会のご尽力に尊敬の念を感じる」と祝辞が述べられました。式典中、ヴィンゼン・ギムナジウムならびにヴィンゼン職業専門学校生徒らによって、日本での高校生活について、ヴィジュアルを用いて紹介されました。なごやかな雰囲気の中、式典は進められ、午後 9 時半まで 3 時間余り、参加者同士親交を深めることができました。（約 40 名）

滞在期間中の 9 月 29 日、会員は一昨年福井に来県したリュネブルク市からの招待を受け、市役所にて副市長にも表敬訪問。ヴィンゼンでの 3 泊のホームステイの後は、ベルリン・ポツダムに足を延ばし、様々なドイツの文化や歴史を堪能することができました。



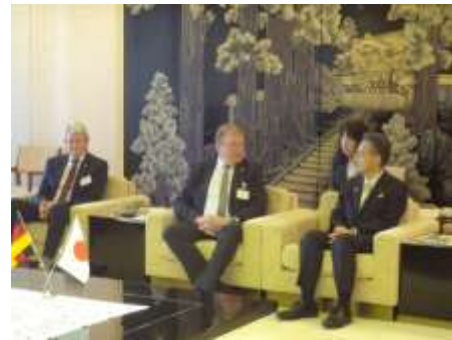
【20 周年記念式典での日本外務大臣賞の表彰】

◇県共催・友好協定 20 周年記念式典開催（2019 年 10 月 29 日）

10 月 29 日、県共催で「友好協定 20 周年記念式典」が県国際交流会館で開催され、ハールブルク郡・ヴィンゼン市から 8 名の行政代表団が参列しました。中村副知事をはじめ、各行政代表ならびに当協会の法人会員代表・個人会員が集い、ドイツから生徒を引率してきた先生や留学生も加わり、多彩な顔触れとなりました。羽水高校生による邦楽演奏、栗田名誉会長による乾杯、各機関代表者挨拶と進み、約 50 名の参加者による大合唱の賑わいの内、2 時間の幕を閉じました。

10 月 26 日福井入りした代表団は、28 日に杉本県知事および県議会を表敬訪問した後、当協会法人会員企業を訪問。

（株）シャルマンにおいて地場産業を視察し、メディア三社（福井放送、福井テレビ、福井新聞）では、情報・意見交換する機会が設けられました。恐竜博物館・永平寺も観光し、30 日に福井を離れました。



◆交流 20 周年記念式典（ヴィンゼン、2019 年 9 月 28 日）

独サイド参列者：ハルデン氏（ハールブルク副郡長）、ヴィーゼ氏（ヴィンゼン市長）
ベッケドルフ氏（ヴィンゼン独日協会会長）レンツ氏（同副会長）、独日協会役員/会員
加藤氏（在ハンブルク総領事）、バンタック氏（ヴィンゼンギムナジウム校長）、
デーゲン氏（ヴィンゼン職業専門学校校長）、ゲーバル氏（リュネブルク独日協会会長）ほか

◇県共催・友好協定 20 周年記念式典（県国際交流会館、2019 年 10 月 29 日）

独サイド参列者：マイヤー氏（ハールブルク郡議会議長）ご夫妻、ハルデン氏（ハールブルク副郡長）
ヴィーゼ氏（ヴィンゼン市長）、ボック氏（同副市長）ご夫妻、ベッケドルフ氏（独日協会会長）、レンツ氏（同副会長）（代表団計 8 名）
シュタイン氏（ヴィンゼン独日協会理事）ヴィンゼン高校教員 4 名

🌸訪独の思い出(14 名の訪独団の中から 7 名の思い出をご紹介します。)

(1)堀真美

初ドイツ&初ホームステイ！この訪独前からドイツ語は勉強していたのですが、拙すぎて伝わらず相手のドイツ語も聞き取れずで心が折れかけ…。でも、こちらのドイツ語拙くても、ドイツの皆さんはしっかり受け取ってくれようとしてくれるので、かなり救われました。ベルリンではカーリーブストと甘いもの三昧で食い倒れの旅でした！写真はベルリンにあるバウムクーヘンの老舗のショーケース。こちらでコーヒーと一緒にいただいたバウムクーヘンとキルシュトルテ、最高でした。



(2)藤井俊幸

20 周年記念訪独に参加の折には、協会の皆様には大変お世話になりました。個人旅行では、出来ない見学、体験をいろいろとさせて頂き、良かったです。又、ホストファミリーのコードウラ御夫妻には、ハンブルグ市内の見学、交流会、家庭での心のこもったおもてなし、そして、列車に乗るまでそろってお見送り頂きましたこと等、心より感謝申し上げます。今後もこうした交流の輪が一層広がることを願っております。



(3)竹内茂暢

初めてのドイツ、というか初めてのヨーロッパ。M さんの誘いで何も考えず参加した。ところが打ち合わせに参加するとホームステイがあるという。ドイツ語も英語もできない私に不安がよぎる。ホームステイ先はヒラーさん夫妻の家に K さん夫妻と一緒に泊まる。会話は翻訳機を使う。後半は皆さんとベルリンに移り市内を観光。市内をバス、電車で移動、ポツダム、東西冷戦時代の壁、ブランデンブルク門などを見て回りベルリン観光を満喫できた。（途中いろいろなハプニングがありましたが）



最後にあっという間の一週間でしたが、村田先生には非常にお世話になり感謝、感謝。

(4)須藤邦久

私の訪独歴は数回になりますが、今回ベルリンは初めてでした。関心は冷戦下で東西を分断したベルリンの壁でした。昨年 11 月に崩壊後 30 周年記念式典が行われたことをメディアが報じていました。写真は、ソ連のブレジネフ最高指導者（当時）と東ドイツのホーネッカー国家評議会議長（当時）のキスシーンが描かれたものです。この壁画は圧倒的な存在感と共に、過去を語る歴史的遺産となっており、ここに佇んで歴史を偲ぶ時、深い感慨を覚えます。



(5)西畑 光廣

大学入試中の宿舎で 1 浪から習った Ich liebe dich!しか知らない者が、ヴィンゼンとの調印式に立会い、直後の交流会では会員が剣舞・詩吟、茶道、華道、着付、折紙等の日本文化を紹介した初めての訪独。私は書道係を担当した 20 年前を思い出した。そして 2 度目、相変わらず独語は話せないがステイ宅では相手の藤井さんが流暢に話すので、快適な日程でした。今回も独在中の弟家族に会え、独人の親切に触れた旅でした。写真はポツダム会談が開催されたツェツィーリエンホーフ宮殿です



(6)牧野晃治

朝食、夕食はパン、チーズ、ハム、コーヒー、牛乳などのいわゆる冷たい食事（カルトエッセン）です。ライ麦パンは固めで食べ応えがあり私は好きですが、野菜を食べなくても大丈夫なのか気になります。町の中は緑が多く散歩するには快適で早朝から散歩する住民も多くみられました。写真はドイツ風ピザのフラムクーヘンです。



(7)平田孝次

ヴィンゼン近郊のリュネブルク市独日友好協会の招待で、リュネブルク市を訪問しました。同市は中世には岩塩の取引で栄え、幾つもの高い教会の尖塔や古い家並みが残っている静かな趣ある町です。市庁舎では、ハンザ同盟都市の頃の議場をはじめ美しいステンドグラスや彫刻、絵画を見学しました。また、市独日友好協会の特別なはからいで、塩を運んだ当時の衣装の船頭さんが操る木造船に乗って、町の中心を流れる運河を散策することができ、思い出深い一日を過ごすことができました。



<訪独団 14 名>

村田氏（福井県日独友好親善協会会長）平田氏（同副会長）川崎氏（同理事）ご夫妻
須藤氏（同監事）、牧野氏（同事務局長）
会員：大谷氏ご夫妻、竹内氏、中村氏、西畑氏、藤井氏、堀氏、水野氏